

不審者侵入時の対応法

◆警察に通報（110）

- ◇状況を報告、質問に答える。
- ◇そのまま通話状態を保ち、いつでも応対できるようにする。
- ◇組織の責任者に、警察への連絡を行なった旨を伝える。

◆建物内のアナウンス；3回繰り返す

「不審者が侵入しました。一番近い部屋に入り、鍵を閉めてください。その後の指示を待ってください。」

◆自分と他の人の安全を確保する

基本は、「部屋から出ない」「銃撃の状況を把握するよう努める」。

例外として、「(安全が確保される場合のみ) 逃げる」。

- ◇**ショックを乗り越え、パニックに陥らないようにする。冷静にふるまう。**
- ◇ドアや窓から離れる。
- ◇危険を察知したら、即座に自分にいる部屋（トイレや台所の場合はその場所）の鍵をかける。
- ◇部屋の鍵を持っていない場合は、机やいす、棚など、部屋にあるものでバリケードを作る。
- ◇死角を利用して隠れる。
- ◇静かに、警察の到着と指示を待つ。
- ◇トイレに行きたい場合でも部屋を出ない。バケツなどを利用する。
- ◇A4の紙に情報を書き（部屋に何人いるかなど）、部屋の外に向けて窓に貼る。
- ◇できるだけ床に近いところにいる。
- ◇背中ではできるだけ安定した壁によりかかる（暖房器具はあまり安定していない）。
- ◇できるかぎり部屋を暗くする。（シャッター、カーテン、電灯）

◆電話がつながるようにする

- ◇電話は極力最低限に、救助隊との連絡にのみ使う。
- ◇その他の電話は、電話網の混雑等を避けるため、使わないようにする。

◆静かにして、存在を気づかれないようにする

- ◇警察が救出するまで、犯人と対話しない。
- ◇はっきり警察とわかる場合のみ、ドアを開ける。
- ◇一人で行動しない。

◆救急医療を行う。

◆救助隊の指示に従う。

武器は決して手に取らない。警察に犯人と間違われて、撃たれる可能性がある。

◎火災時の対応法

◆消防署に通報（112）

- ◇状況を報告、質問に答える。
- ◇通話状態を保ち、いつでも応対できるようにする。
- ◇組織の責任者に、警察への連絡済の旨を伝える。
- ◇その他の電話は、電話網の混雑等を避けるため、使わないようにする。

◆ショックを乗り越え、冷静にふるまう。パニックに陥らないようにする。

◆救急医療を行う。

◆訓練通りに避難を行う。

◎有害物質による危険時の対応法

◆基本として、有害物質から離れる。

◆消防署に通報。（112）

◆有害物質についての情報を報告する。

- ◇見た目と匂い
- ◇漏洩した物質の量
- ◇物質のナンバーや表示記号など

◆責任者に、消防署への通報済の旨を伝える。

◆危険エリアを隔離する。

- ◇可能な場合のみ。危険が大きい場合は無理しない。

◆有害物質から安全な距離をとる。可能なら、少なくとも50メートル。

◆飲食をしない。

◆他の人が危険エリアに立ち入らないために

- ◇まず自分が危険エリアから立ち退く。
- ◇二度と立ち入らない。
- ◇危険エリアで救助活動を行わない。
- ◇有害物質に汚染された部屋をできるかぎり閉める。
- ◇危険エリアにいた人、動物、物に手をふれない。
- ◇危険エリアにいた人は隔離し、消防署や警察にその旨連絡する。
- ◇発見時の状況を記憶し、書きつける。

しかし、**写真撮影は禁止**。（爆発を誘発する危険性がある）